

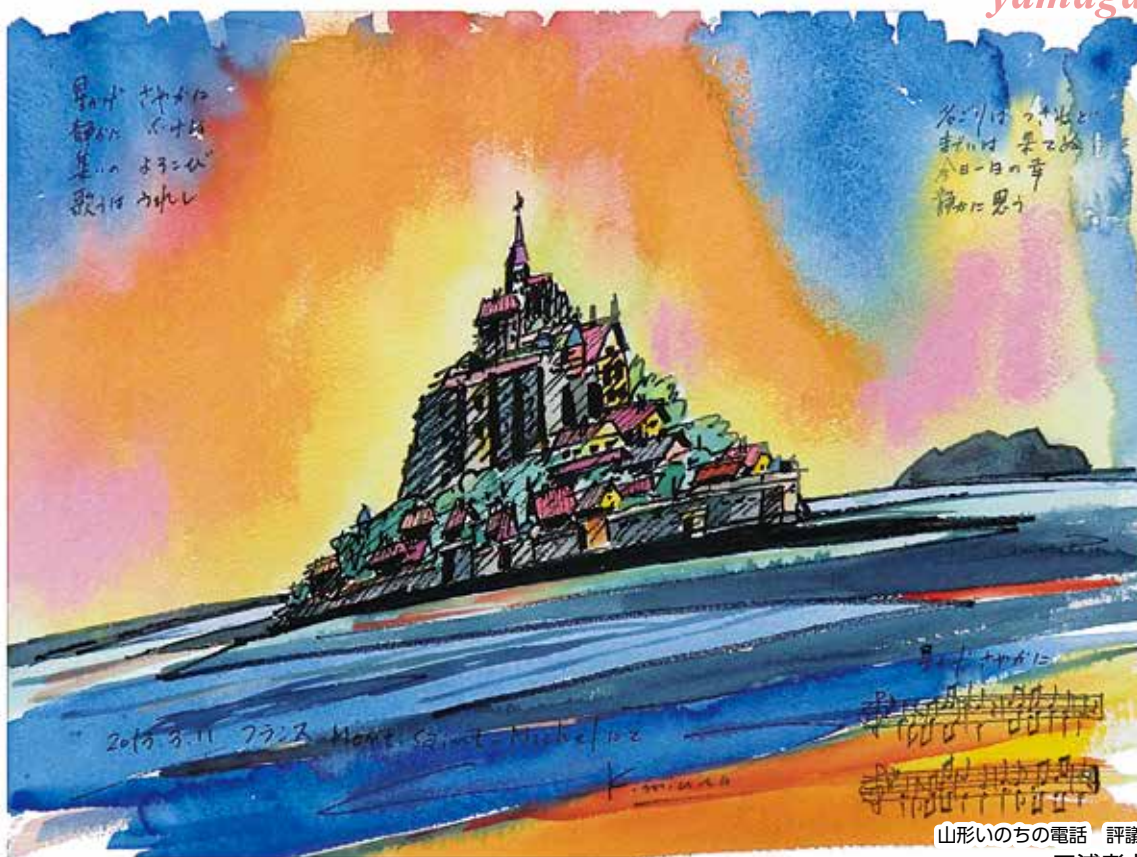
電話の向こうに君の笑顔が見える……

☎山形いのちの電話

広報48号

2013.11.15

yamagata



山形いのちの電話 評議員
三浦孝太郎

寄り添うことのむずかしさ

山形いのちの電話 評議員 井上弓子

私の次女英子は二歳直前に原因不明の脳症を患い、生命は助かったものの全身に麻痺が残り、七歳で亡くなるまで川崎市の聖マリアンナ医科大学病院の小児病棟でお世話になりました。その間多くの障害のあるお子さんのお母さんたちと知り合い、娘の亡くなった翌年から八年間、横浜の自宅でセルフ・ヘルプ・グループ「よつばの会」を運営しておりました。

初めて訪ねてくるお母さんの悩みを寄り添って聴くことは大変むずかしいことで、まずお母さんがお子さんの障害を受け入れることからのスタートです。先輩のお母さんたちが元気に普通に子育てをしている姿に接することは大変勇気を貰うことであっても、多くの経験を経たお母さんたちから「叱咤激励」されるとかえって自信をなくしてしまい、会への参加が続かないこともしばしば。常に「寄り添うこと」を心がけていなければと思

い知らされる出来事でした。

「いのちの電話」の相談員の方々が、ご自分の大切な時間を使い、見ず知らずの方のお話に耳を傾けてくださっている姿を想像すると、私は頭の下がる思いです。尊いお仕事に陰ながらこれからも応援を続けていきたいと思ひます。

山形いのちの電話 会報48号

目次

- ◆寄り添うことのむずかしさ …………… 1 p
- ◆相談員を支えて下さっている先生方の紹介 …………… 2 p
- ◆相談員よりひとこと …………… 3 p
- ◆全国研修会・おおさか大会 参加報告 …………… 3 p
- ◆公開講座「心豊かに生きる」ということ …………… 4 p
- ◆資金ボランティアの皆様 …………… 5 p
- ◆受信統計2013. 1～9月 …………… 5 p
- ◆インフォメーション …………… 6 p

相談員を支えて下さっている先生の紹介



『いのちの電話』の 皆さんに伝えたいこと

山形県臨床心理士会
五十嵐 哲 朗

縁あって、臨床心理士の資格を取って間もない頃から、年数回の個人スーパービジョンをさせていただいています。その中で、私はいつも同じ話ばかりをしています。相談員の皆さんは、またかという感じでしょうが、電話相談を受けることの大変さを多くの人に理解してもらいたいという願いを込めて、あらためて文章にしてお伝えしたいと思います。

相談は、相談をする側と受ける側との関係性の中で成立します。そこで行われているのは、相談をする側と受ける側との相互交流です。それは、言語を主たる媒介として行われますが、面接相談の場合には、それだけでなく、表情やしぐさ、あるいは雰囲気といった相手が発するあらゆるサインや情報から、相手が何を考え、どう感じているかを、全ての感覚を研ぎ澄ませて読み取ろうとするやり取り（コミュニケーション）が行われています。

しかし、電話相談の場合、相手の顔も何も見えない中での、電話機を通した音声言語のみでのやり取りになるため、聴覚的に得られた情報だけから、相手が何を考え、どう感じているかを汲み取らなければなりません。そういう点では、面接相談に比べて電話相談は難しいといえるでしょう。また、電話相談には、面接相談に比べると、匿名性があり、いつでも気軽に相談ができるという良さがありますが、一方で、このことが逆に相談の構造を曖昧なものとし、相談を難しくしているともいえます。

ですので、電話相談でできることにも自ずと限界が生じてきます。面接相談よりも、「今、この相談で、何がどこまでできるのか」を考えながら相談を受けることが、より必要となってきます。

そうしないと、相談を受ける中で、責任感ゆえに「何か役に立つことができたのだろうかという」心理的な負担をより抱え込んでしまい、疲弊し、無力感にとらわれてしまうということになりかねません。特に『いのちの電話』の場合、相談する側と受ける側との一期一会を前提としていることから、このことがより大切になってきます。

相手の語る主訴に沿って話を聴くというのは、相談を受けるうえでの大原則です。しかし、電話相談、特に『いのちの電話』の場合には、語られた主訴の解消や解決にまで至るのは困難であることが多いかと思えます。では、どうしたら相談をする側からの「ありがとう」の言葉で相談を終えることができるのでしょうか。それには、主訴に沿って聴きながらも、それとは別なところで、「なぜ、今、この人は、ここに電話してきているのだろう、何を望んでいるのだろう」ということを考えながら、そのことに応えるかたちで相談を進めていくという作業が必要になってきます。

『いのちの電話』の場合、「とにかく話を聴いて欲しい」という思いで電話をしてきていることが多いかと思えます。だとすると、とにかく心を寄り添わせて話を聴いて、その思いに応えることができれば、相談する側の電話をした目的は達せられ、「ありがとう」の言葉で相談は終了となることでしょう。そのことだけで、十分に相手の役に立てたのであり、語られた主訴に対する明快な解決の糸口を示すことができなかつたからといって、無力感を抱いたり、落ち込んだりする必要はないのです。

電話相談は難しい。しかし、電話相談だからこそできることもあります。『いのちの電話』の活動には大きな意義があり、相談員の皆さんは、間違いなく、多くの人の役に立つことができている。これが、私が、心から、皆さんに伝え続けていきたいメッセージです。



相談員より一言

自分らしく

相談員 M・O

明日は初めての「フリーダイヤル」。不安な気持ちと緊張感。少し早すぎたデビューだったかなと後悔もあった。研修の手引を読み直し心を落ち着かせ床に就いた。

当日腹を括った。先輩相談員に頼るしかない。緊張のなか「掛けての気持ちに寄り添う」……私の原点！精一杯の3時間でした。真摯に向き合う自分を維持することが出来たか？自宅に帰って2時間程何も手に付かなかった。本当に疲れた。

「私でも役に立てるかな？」、安易な考えで相談員に応募した。正直、こんなに生きづらさを感じている人がいるとは考えもつかなかった。仕事から世の中の大変な人に接してきて理解していると自負していたけれど、180度違った世界がそこにはあった。当時の私は、統合失調症一つをとってもどういう症状かさえ理解していなかったので、研修を受けてもほとんど理解できず、本を読んだり、インターネットで調べたり。素人の私が受け手であっていいのか、そんな疑問もあった。「素人でいいの。自分らしく受ければいいの。」そんな

なアドバイスを受けた。

同期の仲間、担当の先生、支えて下さった皆様のおかげで少しずつ変わってきていると感じています。

しかし、つい問題を解決しようと自分を追い詰めたり、「どうして何度も掛けてくるのかな？」なんて思って受けてみたり、反省しきりです。一期一会「掛けての気持ちってどうなんだろう？」、今なら少し理解し、自分なりに向き合える時もあるようです。

昨今心をかき乱す出来事が後を絶ちません。以前は世の中の一つの出来事を深く考えもせず自分の考えだけで批判をしていました。いのちの電話に係わってからは、背景、関わった人はこの先どう向き合っていくのだろう等、様々深く考えるようになりました。今後も、これまで知らなかった世界に足を踏み入れ、積極的に関わっていきたいと考えています。何も知識がないせいで、すべてが勉強です。

自分が成長させていただいているとつくづく感謝するこの頃。自分なりに寄り添えたらと思います。

全国研修会・おおさか大会

研

修

報

告

相談員 F・T

第31回のいのちの電話相談員全国研修会おおさか大会に出席させて頂き、心より感謝申し上げます。初めての経験なので、何もわからず先輩さんの行くままに学ばせて頂きました。何もかもが珍しく、感動的でした。大会の役員さんたちの親切さに心打たれました。会場までの誘導、雨の中でしたので大変でした。おおさかのおばちゃん、何かあたたかく、おもてなしの心を感じてまいりました。分科会での学びで、入佐明美さん、藤藪庸一さんの学びより、聴くことの大切さ、日雇い労働者とかかわりの中から、ネパールに行きたかったけど、場所ではない、このことがわかって釜ヶ崎で2～3年と思っただが、34年も過ぎておりました。実践力のすばらしさ、良心を働かせよう、人様との関係を作っていくことで深くなるほどその人の事情がわかる、お話を聴かせていただき、涙、涙で学ばせて頂いたこと、無駄にししてはいけないと感じました。少しでもその中に入れさせて頂き、実行に移させて頂きたいと思えます。

ありがとうございました。

相談員 T・A

鷲田先生の基調講演は、自分の時間、労力を贈り合う安心感のある社会、「Can I help you?」などの言葉に心が暖かくなりました。自殺についての質問に対し、「自分がここにいることが、いないことよりいいのか、未だにわからない。」とおっしゃる先生に、高校の時に習ったキルケゴールを思い出し息をのみました。3日間の幕開けにふさわしいものでした。

その後は、落語、漫才、河内音頭など、大阪で花開く文化のシャワーをあびながら、笑いと元気をたくさんいただきました。そして、大阪のおばちゃんに負けないパワーが私たちにあることを確認しました。全国の仲間たちとのつながりを心強く思い、明日からまた頑張ろうと力が湧いてきました。

参加の機会をいただいたことに感謝しております。



公開講座 「心豊かに生きる」ということ

精神科医 香山 リカ 先生

日本はよく自殺大国と言われ、毎年三万人の方が自身で命を絶っている状況です。3万人とひと言でいってもイメージできませんが、例えば野球場にいっぱいの方が一年間で……

そして東日本大震災で亡くなられた2万人を上回る方々が毎年命を落としてしまうということ。これは本当に大変なことです。

どうしてそんな世の中になってしまったのか？

私が精神科医を目指していたころは景気も良い時代で、これから精神科医は失業する時代になると言われていました。便利なものがどんどん開発され、これからは心の余裕がでてきて、ストレスとは無縁な人間らしい生活ができる世になるであろうと。

ところが、現在、全く違った状況となっっています。精神科医はとにかく忙しい。そして、いのちの電話の受信件数が多い。複雑な気持ちです。いのちの電話や精神科医が不要な時代が来ることが理想なのですが、どうもそうならない。

便利で豊かな世の中ではあるが、バブルが崩壊し、長い不況のトンネルに入ってしまった。

確かに経済という観点では不安定で心配な時代で、昔考えたように成長し続けるということにはならなかった。でも、世界的にみれば十分豊かで便利な生活をしていますよね。ここまでは予言が当たったけれど、その先、人の心は比例せず……生活は便利で豊かになったのに私たちの心はどうも同じようには豊かにならなかった。

〈できた時間を使って何をしたか〉

むしろそれどころか「もっと豊かな生活がしたい」と欲が出てきて、[空いた時間を無駄にしない+真面目・貧乏性→かえて忙しくなる。自分を切刻むようなあるいは他人としのぎを削りあうような、そんな世の中になってしまった。予想外だったわけです。

学生の場合、就職活動する前にまず自己分析するんです。何がしたいか、何が好きなのか、自分のやりがい自分らしさとは？と自分をよく知ることから始めます。確かにこれは悪いことではない。でも、人生こんなにイメージ(理想)通りうまくいくものか？これらは本当に見つかるのか？見つかったとしても希望通りの仕事ができるのか？出来たらできたで、期待が大きい分傷つきやすく、ダメージが大きくなります。順調に進んだとしても、考えてみなかったことも起こりうるのです。

人が苦手だと思っていた私は研究職を考えていたんです。資格を取るために、何気なく進んだ医学の道ですが、天職とも思えず、消去法で精神科医になりました。にもかかわらず続けることが出

来たのは、逆に期待が薄かったからここまでやってこれたのだと思うんです。

〈情報を増やし選択肢を増やしたために〉

情報だらけの世の中であって、人は、自分にしかできないことがあるはず、自己実現(理想の自分になること)、オンリーワンでいなければならない、という考え方(抽象的な目標)、そうでなければ(生きている)意味がないと考えてしまう……それはゴールが見えない(きりがない)ことであり、段々虚しくなるのです。

そんな風にしたたら(言われたら)嬉しいけれど、そんな人って本当にいるのか？ある意味励ましであり、ある意味プレッシャーや生きづらさになっていくと思うのです。

何であれ、それでは困る。そんな生きづらさや虚しさの感情は、自分を「自分はダメ人間、意味がない、最悪……孤独……」と思込ませてしまう。そんな必要はないのに、やれない自分を責めてしまう、追いつんでしまう悪循環。

違う観点からみると、派遣社員ではあるが仕事はある、生活もできている、チャンスもあるかもしれない、そこそこ生きていられるじゃないか……とも考えられるのに。

時には「井の中の蛙」であることも大切なかもしれない。そして、身近な手の届く範囲の自分に満足することも。

生きる目的が変わったともいえる。物質的な豊かさがもたらした「余った時間」や「道具」は「他人と比べる」為の時間や道具となりました。数多くの情報の中であって、ある一部の人を「別世界」「雲の上」の存在ではなく、身近な存在に感じるが故に、世界中の他人が比較の対象となったのです。

皮肉なことに、人のための便利な社会が人間の心を蝕む大敵となってしまいました。情報が増えるということは本当に幸せになるのだろうか？

〈無駄を省きすぎて〉

頭でっかちな、やり過ぎてしまう生き方ではなく、無駄な部分こそ必要であると思うのです。必要な無駄もあるということ。日向ばかりで、日影がなければ休めないですよ。息苦しくなってしまいます。

普通に生きることが難しい時代、色んな経験があつての今の自分に自信と誇りを持って、そして大いに自分を褒めてあげてください。よくやった。そこそこやってるじゃない。もうちょっと肩の力を抜いて、明るくやっていけたらいいかなと思っています。

相談員と役員の交流会

〈基督教独立学園高等学校を見学〉

この学校の名前を聞いたことがあると思いますが、普段はなかなか足を運べない学校です。今回は役員と相談員が行動を共にする機会が無いものから、大型のバスを借り切りこの学校を一緒に訪問してきました。近年新築となった学校は、役員のお一人、本間利雄さんが設計し、そのお力添えもあって校長から話を聞くことが出来ました。

小国町の周囲を山に囲まれた自然豊かな叶水地区にあります。昭和9年に内村鑑三の呼びかけで鈴木彌美が開校しました。当時は人里離れた場所でしたから、近くの駅から歩いて学校まで到着するのに何時間もかかったそうです。今もそうですが、冬は積雪との闘いだったと教えてくれました。1学年25名、全校生徒数75名の本当に小さな全寮制の学校で、生徒と職員で半自給自足の生活をしています。建学の理念は以下の3点です。

○読むべきものは聖書 ○学ぶべきものは天然 ○なすべきものは労働

自己と向き合う時間を大切にしていることから、テレビのない生活であっても生徒は充実した学校生活を送っていると感じました。

また、パイプオルガンが新たに礼拝堂の2階に据え付けられ、今回は生演奏を聴かせて貰いました。弾いてくれた音楽の先生もこの学校の卒業生だそうです。バッハのトッカータはパイプオルガン独特な音色に癒しを感じましたが、前回NHK朝ドラ「あまちゃん」のテーマ曲の演奏では、元気を貰いました。皆さんも是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

H・T



資金ボランティアの皆様

ご支援ありがとうございました。これからもよろしくお願いたします。

2013年5月～2013年9月分の会費等のご協力をいただいたのは、下記の皆様です。心より感謝申し上げます。

個人維持会員

(敬称略)

北村 和子	伊藤 一雄	土井 和博	高橋 洋子	落合 京子	伊豆倉公子	佐藤 裕邦	秋葉 濠子	寒河江浩二
木俣 繁	渋谷 貞雄	細矢恵美子	小山田美代	鏡 初子	佐藤 泰司	市村 克朗	小座間信夫	黒澤 洋介
木俣 和子	武田 静子	大宮八重子	佐藤 篤	中部 道子	今野 雅行	田中 伸一	金田由利子	朝井 正夫
境澤栄美子	石塚 照子	柿崎 滋子	高橋 省子	原 哲二	高島しづ枝	瀬川由美子	渡部 廣子	他 匿名
佐藤セイ子	伊藤 吉明	坂本九十四	船橋 淑子	神崎 一枝	加藤 滉	大久保忠雄	五十嵐勇次	
高橋あき子	齋藤 秀子	佐藤 豊彦	西澤 謙一	山口 博三	加藤 佳子	菊地 浩子	小座間正子	

団体維持会員

鹿間(株)	山形ロータリークラブ	日本基督教団山形本町教会	(株)菅原工務所
協同薬品工業(株)	(株)ヤマザワ	日本基督教団山形六日町教会	(学)山形デザイン専門学校
(株)西村工場	日本基督教団山形県南地区教会	山形三菱電機機器販売(株)	(株)ベガスベガス

賛助会員

篠原 正夫	佐藤 恵子
伊藤 和子	金田由利子
境澤栄美子	今泉カツコ
佐藤 秀実	八柳 昌子
屋島喜久子	山口多美子

寄附金

(株)山形新聞社	今野 雅行
小野 葉子	金山 和子
(株)蔵王サプライズ	

常設募金箱

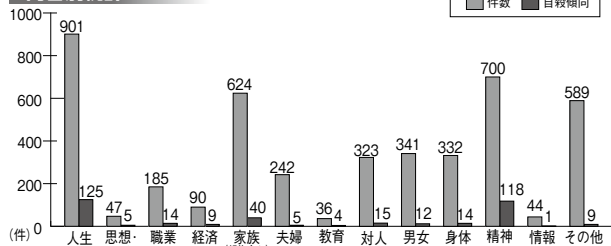
(株)シベール	国立山形病院	東北中央病院	(有)カワダ薬局
(有)くまがい	山形県立鶴岡病院	鶴岡市立荘内病院	山形国際ホテル
郷野目ストア	医療法人社団山形愛心会庄内	日本基督教団山形本町教会	
山形県立中央病院	余目病院	篠田総合病院	

※万が一お名前の誤り、記載もれがございましたら、事務局までご一報下さい。

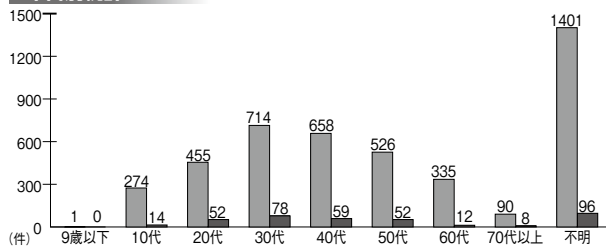
2013年1～9月の受信統計

総件数 4,454件 うち自殺志向件数 371件

内容別統計



年代別統計



★INFORMATION★



第11回山形いのちの電話チャリティーコンサート

いのちをうたうコンサート

出演 高橋まり子 (ソプラノ) 高橋 寛 (テノール)
増川 大輔 (チェロ) 須藤恵美子 (ピアノ・編曲)

日時 12月28日(土) 18:30開演 (開場18:00)

場所 山形グランドホテル 2F「サンリバー」

チケット お一人さま 10,000円 (軽食・お飲物付、税込)
※お問合せは090-3120-9572 (三浦) まで

主催 山形いのちの電話 理事長 古澤 茂堂
後援会会長 本間 利雄
評議員 三浦孝太郎

※チケット代金の一部を当団体への寄附とさせていただきます。

毎月10日は自殺予防いのちの電話!

自殺予防いのちの電話 (フリーダイヤル)

時期 2013年12月~2014年3月

時間 午前8時~翌日午前8時まで

TEL 0120-738-556

資金ボランティアのお願い

山形いのちの電話の運営費は、主として皆様の善意による寄付金で支えられています。あなたも後援会員になって、この活動を支えてくださいませんか?

①維持会員 (年額: 何口でも可)

	A会員	B会員	C会員
個人会員	1万円	5千円	3千円
団体会員	10万円	5万円	1万円

②賛助会員

金額は特に定めず、随時ご寄付いただける方です。クリスマス、歳末など、折にふれてご協力ください。寄付金は免税となります。詳しくは事務局 (023-645-4377) にお問い合わせください。

年末特別賛助金のお願い

クリスマス・年末を迎え、今年もご協力の程、よろしくお願い致します。

◎ご寄付につきましては、税法上の優遇措置の対象となります。法人は損金算入、個人は寄付金控除が受けられます。

・送金先 郵便振替口座 02460-2-21250 ・名義先 社会福祉法人 山形いのちの電話

事務局日誌	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	1日 事務局会議	1日 自殺予防いのちの電話	1日 事務局会議	1日 自殺予防いのちの電話	1日 自殺予防いのちの電話	1日 自殺予防いのちの電話	1日 自殺予防いのちの電話
	2日 震災ダイヤル	2日 自殺予防いのちの電話	2日 震災ダイヤル	2日 自殺予防いのちの電話	2日 自殺予防いのちの電話	2日 自殺予防いのちの電話	2日 自殺予防いのちの電話
	4日 運営会議	3日 事務局会議	4日 運営会議	3日 事務局会議	4日 運営会議	4日 運営会議	4日 運営会議
	5-7日 京都いのちの電話30周年記念と定例総会	4日 運営会議	5-7日 京都いのちの電話30周年記念と定例総会	4日 運営会議	5-7日 京都いのちの電話30周年記念と定例総会	5-7日 京都いのちの電話30周年記念と定例総会	5-7日 京都いのちの電話30周年記念と定例総会
	10日 自殺予防いのちの電話	9日 震災ダイヤル	10日 自殺予防いのちの電話	9日 震災ダイヤル	10日 自殺予防いのちの電話	10日 自殺予防いのちの電話	10日 自殺予防いのちの電話
	11日 震災ダイヤル	10-16日 自殺予防週間 (内閣府)	11日 震災ダイヤル	10-16日 自殺予防週間 (内閣府)	11日 震災ダイヤル	11日 震災ダイヤル	11日 震災ダイヤル
	14日 研修委員会	18日 震災ダイヤル	14日 研修委員会	18日 震災ダイヤル	14日 研修委員会	14日 研修委員会	14日 研修委員会
	19日 震災ダイヤル	19日 広報委員会	19日 震災ダイヤル	19日 広報委員会	19日 震災ダイヤル	19日 震災ダイヤル	19日 震災ダイヤル
	21日 山形いのちの電話総会	26日 震災ダイヤル	21日 山形いのちの電話総会	26日 震災ダイヤル	21日 山形いのちの電話総会	21日 山形いのちの電話総会	21日 山形いのちの電話総会
	22.23日 相談員会	29日 研修委員会	22.23日 相談員会	29日 研修委員会	22.23日 相談員会	22.23日 相談員会	22.23日 相談員会
	27日 震災ダイヤル	30日 2年間の震災ダイヤル終了	27日 震災ダイヤル	30日 2年間の震災ダイヤル終了	27日 震災ダイヤル	27日 震災ダイヤル	27日 震災ダイヤル
	29日 役員・相談員の交流会	10月4日 事務局会議	29日 役員・相談員の交流会	10月4日 事務局会議	29日 役員・相談員の交流会	29日 役員・相談員の交流会	29日 役員・相談員の交流会
	7月3日 事務局会議	8日 運営会議	7月3日 事務局会議	8日 運営会議	7月3日 事務局会議	7月3日 事務局会議	7月3日 事務局会議
	5日 運営会議	9日 河北町講師派遣	5日 運営会議	9日 河北町講師派遣	5日 運営会議	5日 運営会議	5日 運営会議
	5日 震災ダイヤル	10日 自殺予防いのちの電話	5日 震災ダイヤル	10日 自殺予防いのちの電話	5日 震災ダイヤル	5日 震災ダイヤル	5日 震災ダイヤル
	7日 公開講座・香山リカ氏	10日 山形県自殺対策推進会議	7日 公開講座・香山リカ氏	10日 山形県自殺対策推進会議	7日 公開講座・香山リカ氏	7日 公開講座・香山リカ氏	7日 公開講座・香山リカ氏
	10日 自殺予防いのちの電話	10日 16期生・開講式	10日 自殺予防いのちの電話	10日 16期生・開講式	10日 自殺予防いのちの電話	10日 自殺予防いのちの電話	10日 自殺予防いのちの電話
	14日 震災ダイヤル	23日 広報委員会	14日 震災ダイヤル	23日 広報委員会	14日 震災ダイヤル	14日 震災ダイヤル	14日 震災ダイヤル
	17-19日 2013年事務局長会議	25-27日 大阪・相談員全国大会	17-19日 2013年事務局長会議	25-27日 大阪・相談員全国大会	17-19日 2013年事務局長会議	17-19日 2013年事務局長会議	17-19日 2013年事務局長会議
	22日 震災ダイヤル	27日 庄内地区・公開講座・神田秀人氏	22日 震災ダイヤル	27日 庄内地区・公開講座・神田秀人氏	22日 震災ダイヤル	22日 震災ダイヤル	22日 震災ダイヤル
	30日 震災ダイヤル		30日 震災ダイヤル		30日 震災ダイヤル	30日 震災ダイヤル	30日 震災ダイヤル
	8月6日 事務局会議		8月6日 事務局会議		8月6日 事務局会議	8月6日 事務局会議	8月6日 事務局会議
	7日 震災ダイヤル		7日 震災ダイヤル		7日 震災ダイヤル	7日 震災ダイヤル	7日 震災ダイヤル
	7日 運営会議		7日 運営会議		7日 運営会議	7日 運営会議	7日 運営会議

寄附金控除のご案内

当法人へのご寄附は「寄付金控除」の対象となります。

◎個人によるご寄附の場合

山形いのちの電話はこれまでの所得控除制度に加え、2011年より新たな税額控除制度の対象法人として認定されました。新たな税額控除制度は、所得金額によらず(寄附金額から2千円を控除した一定割合(40%))の節税効果があります。尚、今まで通りの所得控除方法も選択できます。

◎法人によるご寄附の場合

当法人へのご寄附金は、損金算入限度額の範囲内で損金算入をすることができます。

◎相続財産のご寄附の場合

相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に当法人に対してご寄附された場合には控除の対象となります。

※詳しくはお近くの税務署までお問い合わせ下さい。

社会福祉法人 山形いのちの電話

事務局 〒990-8691 山形中央郵便局私書箱第99号
電話/023-645-4377(事務用) FAX/023-645-7795
発行人/古澤 茂堂 編集/広報委員会

※この広報誌は、共同募金からの助成で作りました。

編集後記

今号が発行される頃には、すっかり秋も深まり、初雪が見られるかもしれませんね。ここ最近、豪雪の年が続いていますが、晴れ間が出る日は外の散歩をするなどしてリフレッシュをしたいものです。
公開講座の抜粋にも触れていますが、物があふれ、余裕のない生活を送っている中だからこそ、心を豊かに過ごすことを大切にしていきたいです。(な)